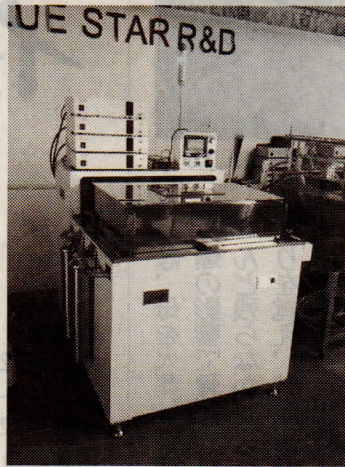


超音波洗浄で短時間でバリ取り

精密機械の製造過程で避けては通れないのが精密部品の洗浄であり、なかでも最も苦心するのが「バリ取り」(バリ=切断・切削時に加工面に生ずる不要な突起)の処理。各メーカーがさまざまな方法でその処理を施す中、「ブルー・スターR&D」(代表取締役・柴野美雪氏)が開発した超音波洗浄機=写真=が国内外から注目を集めている。



「独自のノウハウを駆使した技術で、多重波の超音波を発生させて微小真空核群(マイクロ・ギャラクシー)を生成します。この微小真空核群を利用することにより、洗浄だ

けでなく部品のバリを取ることが出来ます。これを私は真・超音波洗浄と名付けました」。同社の技術顧問を務める柴野佳英氏はこう説明する。

「超音波洗浄機でバリがとれるのか?」という驚きとともに引き合いも多く、同社が積極的に行っている部品のバリ取り実験に、国内、アジア、米国、欧州から昨年1年間で100件(うち有償実験61件)の応募があったという。この方法でバリが取れるのは、ゴム以外の樹脂と金属全般。短い時間で、1度に多量の部品を洗浄・バリ取りが可能のため、時間とコスト、人件費などを大幅に削減できると柴野氏は胸を張る。

「創業3年を迎え、今年はこの技術と製品を日本と世界に発信していきたい」と締めくくってくれたが、メイド・イン・相模原、が日本と世界のスタンダードとなることを願ってやまない。

●ブルー・スター R&D

〒252-0241 相模原市中央区横山台1-31-1

☎042(711)7721 FAX042(711)7237

URLは<http://www.blue-galaxy.co.jp>

(情報提供・さがみはら産業創造センター)